

地域資源の積極的販売

地域資源、農産品の積極的な販売を行う企業

福島県会津若松市の有限会社会津食のルネッサンス(従業員10名、資本金300万円)は、会津産コシヒカリの生産・販売やおにぎり専門店の運営、食に関する新しい技術の情報提供や提携支援、食と農業の生産事業等を行う企業である。

同社は、命をかけて茶の文化を継承した会津の武将蒲生氏郷にちなんで、会津産コシヒカリを「会津継承米氏郷」と称して、寿司やレストランの有名店と連携してブランド化を図り、国内外に積極的に販売している。既に香港の飲食店や台湾の小売店等海外への販売実績があり、将来的に欧米市場への展開を見込んで、パリやニューヨークで現地パートナーと情報交換及び連携を強化している。貿易会社や商談会等に頼らず、自らの人脈やネットワークを活かし、地元の飲食店や小売店と直接対話することで現地の情報を肌でとらえている。

同社の本田勝之助社長は、経済産業省の「につぼんe物産市プロジェクト」の地域プロデューサーとしても活躍しており、ITやマーケティングに明るく、実家の青果店、地元の料理店等、食や料理、農業、地域に対する深い見識と情熱を持つ人々に支えられながら、絶妙な経営の舵取りをしている。海外市場の開拓も思いつきではなく、起業当初から世界を見据えており、詰め将棋のごとく自らの戦略を実行に移している。会津地域17市町村との連携に加え、「会津武家料理マップ⁴」の作成等の新たな構想を練りながら、地道な取組を重ねつつ、世界に通じるブランドとして総合的に農・食・地域を売り込むことに全精力を注いでいる。

⁴ 会津地域の質実剛健な素材を活かして、武家料理と会津漆器との連携を図るプロジェクト「One spoon BUKE」に参加する人気レストランを紹介するもの。



会津継承米氏郷